

創 造活動だより 2018 12月

分かち合い、共に未来を創造する子どもたちをめざして…

今回は、3時間創造活動の内容や深まった思いなどを中心に載せています。是非、ご覧ください。

縦割り創造活動

緑1組	風呂敷の先生が、文様(もんよう)の意味やいろいろな包み方を教えてくださいました。興味をもったきっかけが外国の人に説明できなかったからと聞いて、みんな驚きました。	
緑2組	おばけやしきをもっと面白く、きれいに頑丈にするため、たくさん工夫を考えて壁や小道具、ポスターなどを作りました。次のテーマはぞくとする町、ZOZOタウンです!	
緑3組	「SIGNAL」「I REALLY LIKE YOU」に続き、3つ目のダンスに取り組むスタートの日でした。3つ目のダンスは「U.S.A.」です。乗りに乗って踊っていききたいと思います。	
緑4組	大道具作りと劇の練習をしました。赤2組が劇を見てくれて、感想を伝えてくれました。「声の大きさ」や「立ち位置」等の課題がはっきりしてきました。また、緑4組の振り返りでは「笑ってくれたのがうれしかった」という感想が多かったです。	
緑5組	身の回りにあるものを使って服を作りました。材料から作り方で、グループの友達と協力して完成させました。もしもの時に自分で考える力がついてきました。	
緑6組	もっとみんなが楽しめる遊びを創るために、段ボールを使い、遊び道具作りに励みました。今度は、作った道具を使って、青空の下、みんなで思いっきり遊びます。	
白1組	自分たちで調べた外国のデザートを実際に作るために、材料の買い物から相談し、分量を量ったり混ぜ方を考えたりしながら作りました。出来上がった外国の味をみんなで楽しみました。	
白2組	翌日の「第3回2ワイワイフードコート」の開催に向けて、ランチルームで準備を行いました。3時間じっくりと準備ができたので、冬バージョンの飾りつけが充実しました。	
白3組	こまつりを開くと、想像以上にたくさんのお客さんが来てくれて、驚きも嬉しさもありました。お客さん全員に楽しんでもらうための、おもちゃの工夫、並び方や場所の改善策を考えられたので、次も楽しみです。	
白4組	白4組の中でミニ屋台を行いました。お客さんに楽しんでもらうには、ルールを分かりやすくしたり、ランキングでやる気を高めることが大切だと気づきました。ミニ屋台では、お客さんを案内する順番を間違えてトラブルが発生しました。お客さんが困らないように、接客することも気をつけたいです。	
白5組	トリック写真を撮影しに栗林公園に行きました。写真を撮影することで、栗林公園の自然の豊かさや観光客の多さに気づき、栗林公園の魅力を広めたいと思いました。	
白6組	ワークショップでできるか試すために、集めた花びらやみかんの皮で草木染めをしました。射的やくじの道具、景品も、お客さんに喜ばれるよう改良を重ねています。	
赤1組	Lotta チョークアート工房の香西さんに、立体的に見えたり本物っぽく見えたりするような黒板アートの描き方のごつを教わりました。実際に描いてくださったり、アドバイスをもらって描いたりしながら、作品がよくなっていくのを感じました。	
赤2組	「交差」という目標を達成することができた赤2組は、「もっと完成度を高めよう!もっとカッコイイ集団行動にしていこう!」そんな想いで、次なるステップ「これまでの技をつなげて、ひとつの集団行動を創り上げよう!」という目標をもちました。	

赤3組	栗林公園で池の管理の仕方や注意点を教えていただきました。池が濁っていても、生き物にとって住みやすい環境を整えることが大事だと学びました。実際に観察すると結構濁っていましたが、生き物は元気でした。	
赤4組	これまでに考えてきたアイデアを生かしながら、びっくり箱のしかけを改良しました。また、みんなに「WOW!」と言ってもらうために、しかける場所も話し合いました。	
赤5組	前半は、音合わせの工夫について課題を話し合ったり、パソコンを使って音の出し方を調べたりしました。後半は、実際に音合わせをしました。みんなの音を大切に合わせることができました。	
赤6組	校内に俳句ロードをつくるために、これまでに生み出した俳句を清書しました。お気に入りの俳句を取捨選択する中で、個の思いや願いが再確認され、新たな俳句づくりへの意欲が湧いてきました。	

学級創造活動



学級創造活動では、個人追究のほかにクラスで問題解決をする時間もあります。ハーモニー集会に向けて、教師も問題解決のメンバーの一員としてクラス全員で「素敵なお歌にするにはどうしたらよいか」などを考え、試行錯誤を繰り返しました。本番は、どのクラスもたくさんの保護者の方々の温かい眼差しを受けながら、美しいハーモニーを奏でることができました。

6年間の創造活動の成果

資質・能力	定義	【子どもたちのアンケート結果より】
学び続ける力	夢や憧れをもち、自律的に学び続ける力	★授業で教わったことや調べたことについて、自分なりに考えている H25年度 76.5% → H30年度 86.9%
関わる力	「ひと・もの・こと」へ共感的・協同的に関わる力	★わたしと違う意見をもっている友だちとも協力して一緒に学んでいる H25年度 81.2% → H30年度 90.1%
創造する力	問題を解決し、知や価値を創造する力	★同じ学年の友達や違う学年の友達と一緒に何かを作りあげたり、新しい発見をしたりしている H25年度 82.0% → H30年度 87.3%

「よくあてはまる」と「すこしあてはまる」の項目に解答した児童の割合

創造活動の研究が始まって6年目を迎えました。子どもたちのアンケート結果から、本校が目指す3つの資質・能力の育ちが見られます。(香川大学 岡田涼准教授より) 子どもが自分の伸びを実感できていることに教員一同、喜びを感じております。これも保護者の皆様のご理解・ご協力あってのことです。本当にありがとうございます。